



日・EU ビジネス・ラウンドテーブル

プレスリリース

2011年1月19日 東京

本日、「日・EUビジネス・ラウンドテーブル」共同議長の米倉弘昌氏（住友化学 会長）とジャン・イブ・ル・ガル氏（アリアンススペース会長兼 CEO）は、菅直人総理大臣と面談し、日・EU間の貿易・経済関係の強化を要請した。

米倉氏（住友化学会長）とル・ガル氏（アリアンススペース会長兼 CEO）は、菅総理大臣との対談において、日欧の貿易・経済関係は双方の経済規模から考えても重要であり、さらなる発展が可能であると強調した。また、日本と欧州は近年ますます共通の課題に直面しており、研究開発とビジネスにおける日欧企業のさらなる協力関係の推進が必要であると強調した。

「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」は、日欧間の貿易・投資の野心的な拡大を促進する為に、適切な条件が満たされた日・EU 両政府が合意次第早急に、バランスのとれた双方に有益な二国間協定の交渉を日・EU両政府は開始すべきであると提言している。

また、「2001 - 2011 年 日・EU協力のための行動計画」が今年終了するにあたり、それに代わる新たな枠組みの交渉の準備を日本側で行うよう菅総理大臣に求めた。

今年4月28～29日にローマで開催される「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」年次会合に際し、同会合の日欧双方のメンバーは、日・EU間の貿易・経済関係強化を促す提言書を、日・EU両政府当局へ提出する。ル・ガル氏は、「複数の省庁が管轄する分野の非関税障壁の撤廃を実現するには、総理大臣のリーダーシップがきわめて重要であるため、日・EU経済・投資関係の発展の実現に向けた日本の取り組みにおける菅総理大臣自身の関与に期待している」と述べた。米倉氏は、「日本の経済界は、菅総理大臣の『国を開き』『未来を拓く』という決意を歓迎し、このビジョンの達成に向けた政策実現を引き続き支援して参りたい」と述べた。

お問い合わせ：

日欧産業協力センター（日・EUビジネス・ラウンドテーブル事務局）

Tel: +81 (0)3 3221 6161

山本 ひろみ Email: [hiromi.yamamoto@eu-japan.gr.jp](mailto:hiromi.yamamoto@eu-japan.gr.jp)

樋口 愛子 Email: [aiko.higuchi@eu-japan.gr.jp](mailto:aiko.higuchi@eu-japan.gr.jp)

住友化学株式会社

佐々木 康彰 Tel: +81 (0)3 5543 5090 Email: [sasakiy6@sc.sumitomo-chem.co.jp](mailto:sasakiy6@sc.sumitomo-chem.co.jp)

アリアンススペース

ジョン＝ルイ・クロドン（Mr. Jean-Louis Claudon）Tel: +81 (0)3 3592 2766

Email: [jl.claudon@arianespace.com](mailto:jl.claudon@arianespace.com)

日・EUビジネス・ラウンドテーブル ホームページ：[www.eu-japan-brt.eu](http://www.eu-japan-brt.eu)